

「たまりん」の運行見直しは！



石内 國雄



町長

一部町内路線を廃止の方向で調整

質問 町長の施政方針では、高齢者等へのタクシー料金の一部補助の利用状況を見ながら、乗合タクシー「たまりん」の運行を見直すとのことであるが、どのような見直しを想定しているのか。

答弁 町長 「たまりん」のバス停乗降調査の結果に基づき、県立高崎高等特別支援学校への路線と、伊勢崎方面への路線のみバス停方式を採用し、他の町内路線は廃止の方向で調整したい。町内の交通手段は、タクシーを利用していただくことを想定している。

質問 学生や一般住民の交通手段の確保は、どう考えているのか。

答弁 生活環境安全課長 タクシー料金一部補助の実証実験の結果を見て、検討していきたい。

質問 「たまりん」の運行見直しのもととなるデータ、町民要望をどのように把握し検



再編が検討されている「たまりん」

討しているのか。運行見直しのスケジュールはどうか。

答弁 町長 移動プロジェクト（※1）に参画し、ニーズの把握や望まれる公共交通のあり方について継続的に議論している。

答弁 町民の足の確保には、特に必要となる高齢者を軸に「たまりん」の再編やタクシー券の配布で対応したい。タクシー券の利用開始と「たまりん」の再編後の運用開始は、平成29年10月から行う予定である。

1人1スポーツの充実を！

質問 1人1スポーツの推進には、スポーツ推進委員の充実・拡充が必要と考える。現状と計画はどうか。

答弁 町長 スポーツ推進委員は、現在3名である。条例では15名以内となっているため、町広報への募集掲載や各種団体へ推薦のお願いをしている。

質問 ポイント制度の導入により、スポーツ教室等の参加人数の増加や低額施設利用料の設定を図ってはどうか。

答弁 町長 今後の制度導入における手法の1つとして検討していきたい。

※1「移動プロジェクトとは」生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体において、高齢者等の交通手段を検討する組織。

町長が描く町の将来像は？



川端 宏和



町長

誰もが生涯活躍でき、魅力ある町

質問 町長が描く町の将来像は、どのようなイメージなのか。

答弁 町長 町の将来像として、健康で誰もが生涯活躍でき、交通の利便性や大都市に近接する特長を活かし、子育てしやすく、若い人が安心して働けるまちをイメージしている。

質問 施政方針において、「将来にわたって継続的に発展できるしつかりとした土台をつくる」と言っているが、具体的な事業展開は。

答弁 町長 本町の特徴を活かした定住・移住促進や交流人口の増加、企業誘致などの税収確保につながる事業を積極的に展開していく。

質問 障害者福祉センターたんぽぽの建て替え工程は

答弁 懸案となっていた障害者福祉センターたんぽぽの建て替えによる今後の工程と建設形態は。

質問 犯罪抑止！防犯カメラ稼働中の掲示を！

答弁 町長 社会福祉協議会において3月中旬に実施設計業者を入札し決定する。工程は、初めに旧施設の西側半分を解体し、北側の施設で運営を続けながら南側で新築工事を行う。その後旧施設を解体し、平成30年度からは新たな施設で運営する予定である。

犯罪抑止！防犯カメラ稼働中の掲示を！



周知徹底で犯罪抑止

道の駅玉村宿のさらなる利用促進を

質問 道の駅玉村宿のさらなる利用促進を図れ。

答弁 町長 賢い料金事業（※1）を含めた道の駅玉村宿の魅力を東京圏で情報発信し、誘客促進を図っていく。

※1「賢い料金事業とは」高速道路から一時退出して道の駅に立ち寄れるシステム。ETC2.0搭載車を対象に全国3カ所で試験導入される予定で、道の駅玉村宿もその一つ。